

## 第16回ビバホールチェロコンクール課題曲



### 【一次予選】

A、Bよりそれぞれ1曲を選び、演奏すること。

どちらから演奏してもよいが、予選進行の都合により途中で止めることがある。

A 下記のうち、いずれか1曲を選び、演奏すること。

- 1 J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007 よりプレリュード
- 2 J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第2番 ニ短調 BWV1008 よりプレリュード
- 3 J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第3番 ハ長調 BWV1009 よりプレリュード
- 4 J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第4番 変ホ長調 BWV1010 よりプレリュード

B 下記のうち、いずれか1曲を選び、演奏すること。

- 5 C.P.E.バッハ:任意に選んだチェロ協奏曲の第1楽章  
(イ短調 Wq.170, 変ロ長調 Wq.171, イ長調 Wq.172)
- 6 L.ボッケリーニ:任意に選んだチェロ協奏曲の第1楽章  
(変ホ長調 G.474, イ長調 G.475, ニ長調 G.476, ハ長調 G.477, ニ長調 G.478,  
ニ長調 G.479, ト長調 G.480, ハ長調 G.481, 変ロ長調 G.482, ニ長調 G.483, ハ長調 G.573)
- 7 J.ハイドン:任意に選んだチェロ協奏曲の第1楽章  
(ハ長調 Hob.VIIb-1, ニ長調 Hob.VIIb-2)

注: いずれもカデンツァは自由。

5については原典版(The Packard Humanities Institute)に準ずること。オイレンブルグ、ブライトコフ版も可。

6について変ロ長調(グリユツマツヒャー版)は不可。7についてはヘンレ版、またはショット版を使用すること。

### 【二次予選】

A、Bよりそれぞれ1曲を選び、演奏すること。演奏順は自由とする。

A 下記のうち、いずれか1曲を選び、演奏すること。

- 1 L.v.ベートーヴェン:チェロソナタ 第3番 イ長調 Op.69 第1楽章と終楽章
- 2 F.シューベルト:アルペジジョーネ・ソナタ イ短調 第1楽章と終楽章
- 3 F.メンデルスゾーン:チェロソナタ 第1番 変ロ長調 Op.45 第1楽章と終楽章
- 4 F.ショパン:チェロソナタ ト短調 Op.65 第1楽章と終楽章
- 5 J.ブラームス:チェロソナタ 第1番 ホ短調 Op.38 第1楽章と終楽章

注: 2の終楽章以外は繰り返しを省略すること。

B 下記のうち、いずれか1曲を選び、演奏すること。

- 6 M.レーガー:3つの無伴奏チェロ組曲 Op.131cより第1番 ト長調の第1楽章と終楽章
- 7 M.レーガー:3つの無伴奏チェロ組曲 Op.131cより第2番 ニ短調の第1楽章と終楽章
- 8 M.レーガー:3つの無伴奏チェロ組曲 Op.131cより第3番 イ短調の第3楽章
- 9 P.ヒンデミット:無伴奏チェロソナタ Op.25-3 全曲
- 10 Z.コダーイ:無伴奏チェロソナタ Op.8 第1楽章
- 11 E.イザイ:無伴奏チェロソナタ ハ短調 Op.28 第1楽章と第2楽章
- 12 G.クラム:無伴奏チェロソナタ 全曲

注:7の最終楽章と、12の第2楽章の繰り返しについては演奏者の自由とする。

### 【本選】

下記のうち、いずれか1曲を選び、演奏すること。

- 1 R.シューマン:チェロ協奏曲 イ短調 Op.129
- 2 P.I.チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲 Op.33(フィッツェンハーゲン版による)
- 3 A.ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 ロ短調 Op.104
- 4 E.ラロ:チェロ協奏曲 ニ短調
- 5 E.エルガー:チェロ協奏曲 ホ短調 Op.85

### ■演奏上の注意事項

- 1 演奏は二次予選のAを除き、すべて暗譜で演奏すること。
- 2 課題曲のエディション(版)は、特に指示があるものを除き自由とする。